

「新潟市汚水処理施設整備構想(案)」に対する パブリックコメントに寄せられた ご意見及び市の考え方

■募集期間：平成29年7月3日（月）～8月3日（木）

■意見の提出状況：提出者数3人/意見数7件

No.	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	案の修正
1	整備を望んでいる地域であっても、下水道の整備が行き届いていない現状がある。1年でも早く整備が進むような構想とされたい。	下水道整備を望んでいる区域は、優先的に整備することとし、下水道整備が早く進むよう事業を進めていきます。	無
2	「接続意思の確認」の表現は、計画区域内の市民で下水道につながたくない方はつながなくても良いと認識してしまうので、表現を変えた方がよい。	「接続意思を確認し、投資効果の高い区域を優先的に整備」から「下水道整備を望んでいる区域、投資効果の高い区域を優先的に整備」の表現に修正します。	有
3	農業集落排水施設を統廃合する場合は、新たな管渠整備が伴い、二重投資になるのではないかと。	農業集落排水施設の処理場は老朽化してきており、今後、改築更新が必要になります。改築更新費用と統廃合による建設費用を比較した上で、統廃合が経済的という結果を受け、構想に反映しています。	無

4	費用対効果を踏まえ、下水道整備の良い地域、合併浄化槽の整備が良い地域と色分けし、市にとって財政にやさしく、市民にとって快適な生活環境を構築し、汚水処理施設を整備して欲しい。	構想策定にあたり、下水道、合併浄化槽それぞれの建設・維持管理費をもとに経済比較した中で、下水道区域、合併浄化槽区域を設定しています。	無
5	災害時、下水道施設の復旧には時間、費用がかかるが、個別処理である合併浄化槽は、個別修理で早い対応が可能である。災害時対応を考えると合併浄化槽での整備が効率的、効果的ではないか。	被災後、個別修理での対応が早いと考えられますが、個別修理の件数が多い場合は、全体的にみると対応に時間がかかることが想定されます。 下水道部では、災害時、最小限の被災になるよう下水道施設の耐震化を進めており、下水道施設の復旧に時間及び費用がかからないよう努めています。	無
6	中長期的に、どれだけ下水道事業に費用がかかるのか示してほしい。	構想策定では、これまでの整備実績を参考に概算事業費を算出していますが、実際の事業費は、現場状況（地形、埋設物、管渠深さなど）を踏まえた詳細設計により算出することから、中長期的な事業費は、今後の詳細設計や社会情勢の変化、財政事情などの影響により、大きく変動する可能性があるため、お示しすることは控えさせていただきます。	無
7	現状（汲取り式、単独浄化槽）でも生活に困っていない、高齢者世帯では、本人の代で空き家になる可能性があることから、下水道に接続しない場合がある。また、下水道・公設浄化槽ともに工事費・使用料など費用面の課題があり、リフォームなどのきっかけがなければ接続・切り替えが難しい現状がある。	下水道接続に消極的な場合があるということは、下水道部としても認識しています。下水道整備・接続の必要性を十分に説明し、理解を得ながら、事業を進めて参ります。	無